



情報交流ひろば

ふらっと



藤井寺市役所
1階ロビー

パンフレットスタンド

憩いの空間



市政情報をはじめとするチラシ等を
カテゴリ別に置いています。

ちょっと立ち寄っておしゃべりしたり、
ミーティングなどいかが？

「ふらっと」にふらっと立ち寄って

人と人をつなぐボランティアマガジン

HITOTSUNAGI

ひとつなぎ

Vol.2

市民活動やボランティアを
はじめたい人・している人
必見!

- P.1 『藤井寺を元気にする活動』
はじめてみませんか。
- P.3 対談「子どもの未来のために、
大人が今できること。」
- P.7 活動をシルミル。
- P.12 市民活動 Q&A
- P.13 自治会 de ボランティア活動!

『藤井寺を元気にする活動』

はじめてみませんか。

市民活動やボランティアってどんなイメージ？

“被災地へ行って活動する” “海外に行って慈善活動を” など、「自分とはかけ離れたもの」と思いませんか？

「市民活動をはじめてきっかけは？」と、市民活動をしている人に尋ねると…

「引っ越してきたばかりのとき、子どもと遊べる公園や子育てママ同士の集まりがどこであるのか全然分からなくて困りました。だから、そういった情報や口コミが載っている冊子が欲しいなって思ってたんです。色々探したんですけど、どこにもそういう冊子はなくて…。だけど、待っていても誰かが勝手に作ってくれるわけじゃない。じゃあ、自分で作っちゃえって思ったのがきっかけなんですよね。活動を始めてみると、同じ想いの人も結構いて仲間ができました。今では、私たちが作った冊子は子育てママにも役立ててもらえているみたいですね。」

日常生活で、何か困ったことや歯がゆい思いをしたこと。誰でもありますよね？

その思いを行動に移してみてください。そうすると、実は困っていたのは自分だけじゃないのかも。同じような悩みを持った人が仲間になり、活動してみるうちに、気づけば他の誰かのためにもなっているかもしれません。

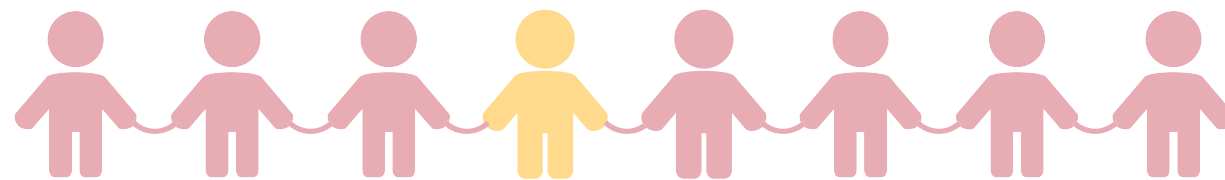
「市民活動」や「ボランティア」は、特別な活動ではありません。自分の暮らし、あるいは、隣近所や自分の住んでいるまちを良くしたい。あなたの身近で個人的な思いや悩みからはじまるものです。

「でも、行動に移すまでの一歩がなかなか踏み出せないなあ…。」

この冊子はそんなあなたの背中をそっと押します。「藤井寺を元気にする活動」はじめてみませんか。

活動の魅力って？

「市民活動」や「ボランティア」の魅力として、活動を通じて色々な人との出会いがあります。仕事仲間や趣味の仲間とはまた違った、いろんな価値観や個性を持つ人から刺激をもらうことで、新しい発想が湧いてきたり、視野が広がるかもしれません。



どんな活動があるの？

藤井寺市では、市内の活動を知ってもらおうと、シル（知る）ミル（見る）な取り組みを行っています。活動をしている方を取材して広報紙に掲載したり、活動チラシを市役所1階ロビーに置いて紹介しています。興味のある活動があるかチェックしてみてくださいね。

シルミルいんぷお

市役所1階ロビー



市民活動のPRチラシやイベントチラシを置いています。素敵な活動が見つかりますよ。また、シルミルいんぷおを利用している団体同士の交流会も開催しています。ネットワークを作ってお互いの活動のPRに活用してください！

お互いの活動を紹介したり、悩みを共有したり。コラボ企画も生まれるかも？

シルミルれぽ〜と

団体を取材して市広報紙に掲載



こんな団体があれば、教えてください！

- 藤井寺を元気にする活動
- 営利目的でない（参加費徴収などはOK）
- 市内で活動している

※政治・宗教目的や、公序良俗に反しているものはお断りします。



詳しくは、藤井寺市協働人權課まで。
市役所1階④番窓口 ☎ 072(939)1331



P.7からは藤井寺を元気にする活動を紹介します！
団体の活動に参加したり、自分で立ち上げるヒントにしてくださいね。

足立 義幸

Adachi Yoshiyuki

藤井寺小学校 PTA 会長・藤井寺市市民協働推進委員会委員。普段は建築を中心としたデザイン活動に携わっており、中でもリノベーションを通じ、新たな価値を生み出す住まい・まちづくりに取り組んでいる。コンテストで入賞するなど、活動における評価を高めている。

西村 剛人

Nishimura Tsuyohito

まなリンク協議会会長・藤井寺市子ども会育成連絡協議会役員。普段は空家不動産に携わっている。中でも土師ノ里駅から北へ徒歩2分の「里庭の箱」は注目だ。長屋をリノベーションし、珈琲焙煎所・バル・雑貨屋などおしゃれな店が並ぶ。



__子どもの未来のために、大人が今できること。

西村 足立さんは、普段どんな活動をされているんですか。

足立 本職は建築を中心としたデザイン活動ですが、ボランティアとして、藤井寺小学校のPTA会長をしています。今で、もう4回目ですね(笑)

西村 すごいですね(笑)どんなきっかけでPTA会長に？

足立 突然声がかかり、断り切れずに引き受けてしまいました(笑) いざやってみると活動に色んな疑問が出てきましたが、1年間では変えていくことはできませんでした。気付いたら放っておけない性格なので、意を決して再登板して今に至ります。もともと育ちが藤井寺ではないので、後継者になってくれるような知り合いもなくて(笑)

西村 僕も昔、PTA会長をやったことがあります。地域を支えていくには次世代を担う子どもたちを育てるとい

うことが本当に大事。だから、自分の子どもだけでなく、地域の子もたち全体と関わって、どうすれば子どもたちのためになるか考える。それって素晴らしい事だと思って立候補したんです。

当時は、学校がすごく荒れていて、授業中に先生の話を聞いてなかったり、廊下で遊んでいた。そこで、学校の実態を知ってもらうためにも色々と提案し、行いました。PTAとして本当にやるべきことは何かって相当議論しました。新たな活動をすることで、周りの人たちにいっぱい迷惑もかけたんですけどね(笑)

足立 継続した活動にも良い面はありますが、時には、団体の目的が何なのかを再確認して活動を見直すっていうことも、とても重要だと思います。

西村 目的があって、それを達成するための手段として団体があるのに、団体を維持すること自体が目的になっちゃうとまずいですよね。同じ事ばかりやっているといつの間にか義務感を感じるようになってしまう。そう

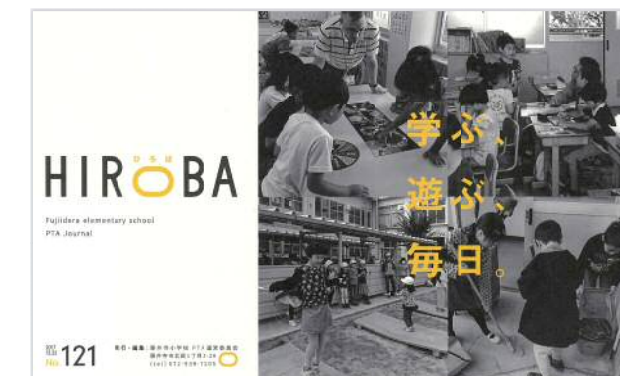
なると人は離れていってメンバー不足に陥る。ボランティアっていうのは「やりたいからやる」っていうのが大事なと思いますね。仕事だとやりたくないこともやらないといけない。ボランティアにもしごらみはあるけど、仕事に比べたら自由度はとても高いですよ。やっぱり楽しんでやらないと。

足立 最近は、役員に立候補する人も増えていて、「ひょっとすると楽しいのかも？」と思ってもらえるようになってきたのかなと感じています。実は2年前にPTAの広報紙のデザインを変えたんです。「あれ？なんか雰囲気変わったな」と一目見ただけで感じてもらえるように。もちろん地道な活動も必要ですが、まずは組織のイメージを変えて興味をもってもらいたいと思ったんですよ。PTAはイメージがよくないので(笑)

西村 確かにイメージって大事ですよ。まちづくりも共通するところがあって、「藤井寺というまちをどう魅せるか」が重要だと思いますね。藤井寺って昔から文化

的なイメージがあるじゃないですか。「藤井寺ちょっとおしゃれやん！」と思ってもらえる打ち出し方をしていくことが大事な。

足立 確かに、藤井寺って文化的なものや歴史的なものがたくさんあります。古墳や、辛國神社、葛井寺、道明寺



▲藤井寺小学校 PTA 運営委員会の広報紙。紙面に多用されている楕円形は、小学校の「広場」である運動場のトラックと「子ども、保護者、学校、地域」の絆を築こうという意味と希望を表している。





天満宮…それらをどう活かしていくか。まち全体でイメージを統一してかっこよく魅せる事が大事ですね。

西村 僕が所属しているまなリンク協議会は、道明寺天満宮で開催している「宮子屋」にも関わらせてもらっています。ワークショップをして藤井寺の歴史に触れてもらおうという取り組みですが、写真の使い方、内容、場のセッティングなどイメージを統一してこだわっています。効果的に発信しようと思うときちゃんとコンセプトを持ってやっていくことが大事ですね。

足立 ほかに、まなリンク協議会はどのような活動をされているんですか。

西村 まなりくんの PR とまちの振興を目的に活動していて、「普段使いのまちなか観光」をテーマにしています。例えば、市外よりも市内のカフェに行く方が、交通費が浮いてコーヒーだけでなくデザートも頼めてお得ですよ。そういう普段使いできる店を応援していこうという取り組みをしています。

イベントをすることが目的ではなく、あくまで「まちづくり」が目的です。藤井寺を良くしていくのはまちの人が主役。だから、まちの人たちが「藤井寺ってええまちやなあ。藤井寺のためになんかしたいなあ。」という気持ちにならないとまちづくりにつながらないと思っています。そのために何をすべきか考えながら活動しています。

足立 「イベントをやること=まちづくり」と思っている人もいますが、イベントは一過性のものなの



▼道明寺天満宮で行われている「宮子屋」。ただイベントをするのではなく、どのように日常につながるかを考えて行っている。



で、終わると人は去ってしまう。イベントをするのであれば、それを開催したことでどう日常につながっていくのかまで考えないと、本来的には市民のためになっているとは言えないと思います。藤井寺ってとてもイベントが多いですよ。でも、今の時代、流行り廃りが早いので、同じやり方でやっているとすぐにマンネリ化してしまいます。

西村 イベントって派手で目立つけれど、運営するのはとても大変で疲れますよね。それで潰れてしまう人が出てしまわないか心配です。それよりも日常的なまちづくりに焦点をあてることも考えた方がいいと思います。

足立 日常的なまちづくりっていうのは具体的にどんな方法が考えられますか？

西村 例えば、住み慣れた地元で働ける場所を用意してあげるとかね。今、経済が都市部に集約されて地場産業はどんどん弱くなっています。そうすると、学校についていけなくて辞めてしまった子や、都市部で就職したけど色々な事情で地元に戻ってきた若者がいても、地域には働き口がない訳です。地域の大人としては、そういう子たちでもやる気さえあれば、働けるような環境をつくってあげるべきなんじゃないかな。

足立 なるほど。そう考えると地域での雇用を生み出すというのは重要ですね。どんな雇用が考えられるでしょう？

西村 観光ガイドもそういうポテンシャルはあるのでは。百舌鳥・古市古墳群が世界遺産になれば、ガイドが

子どもの未来のために、大人が今できること。

必須。観光ガイドといっても、完璧に英語を喋れる必要はないと思うんです。外国人に藤井寺の文化や古墳の紹介を出来ればいい訳です。それを機に、就職に悩んでいる若者たちが、英語やガイドに興味をもって、スキルアップ出来れば立派な職につながる可能性がありますよね。

足立 確かにそうですね。PTA 活動もそうですが、将来の藤井寺を担っていく子どもたちに地域の大人として何が出来るかを考えたいですね。私は、住宅・店舗などの古い建物のリノベーションも手掛けています。最近は古民家があっても、相続する人がいなくなったり、諸事情で手放してしまうことが多いです。大きな古民家が壊され、分譲されて新しい家がたくさん建つ。それが一概に悪いとは言いませんが、街並みはガラッと変わってしまう。古いものを大事にして、それに新たなる価値を見出していくという手法としてリノベーションがあります。藤井寺の財産と言える歴史ある街並みを守り、子どもたちに残していくためには、取り入れた方がいい考えだと思います。



◀▲足立さんが空家となった古民家をリノベーションした例。歴史ある街並みを残すためには、リノベーションも有効な手法。

西村 今は、古い物に価値を見出すという風潮が広く浸透してきている気がしますよね。劣化というよりも、味という風に捉えられている。自分の住んでいるまちに愛着を感じるためには、大事な視点だと思います。

足立 街並みという点では、商店街にも注目しています。私の地元の岐阜県では、柳ヶ瀬という巨大な商店街があります。例に漏れず錆びれつつありますが、その中でも百貨店の周りはずっとにぎやかな雰囲気でした。百貨店の1階がオープンスペースになっていて、待ち合わせや休憩の場所になっているからなんです。人が集まるから



周りに店が出来て、まちができていくんだなあ実感できる場所です。藤井寺も空き店舗を活用し、「人が集える場所」を商店街に作ったらどうかと思います。買うだけならインターネットで済む時代。交流につながる「人が集える場所」を作ることは、商店街にとって付加価値を生むと思うんです。そのためには、市民・企業・商店・行政など色々な人たちが協働して取り組んでいくのが大事ですよ。

西村 そうですよ。僕は情報共有ってとても大事だと思っています。どこに良い情報が転がっているかわからない。まちづくりをしていこうと思うとその情報を共有するためのネットワークがとても大事だと思います。この冊子のタイトルでもあるけど、まちの人や藤井寺に関わってくれる人がどれだけ「ひとつなぎ」になれるかどうか、まちづくりにはとても重要ですね。



▲西村さんが長屋をリノベーションした「里庭の箱」で撮影。次世代のために大人たちが何が出来るか熱く語り合った。

活動をシルミル。

藤井寺には、美化活動や子育て支援の活動など、藤井寺を元気にする団体がたくさんあります。ここでは、そんな団体を紹介します！

「藤井寺市にはどんな活動をしている団体があるの？」
「活動しているけど、もっと色々な団体と関わって交流したい！」と思ったら要チェック！



手話サークルふじいでら

手話を学び、関係施設へ見学に行くなど、聴覚障害者との交流を深めています。市内の小・中学校へ伺い、聴覚障害者への理解を広めるための学習や手話体験をろうの方々と一緒に行っています。日常生活で、もっと手話が通じるように取り組んでいます。

活動場所 福社会館
活動日時 毎週水曜日 19時～21時
※第2週は10時～12時、第4週は13時30分～15時30分も活動
問合せ先 太村072(953)5882



自助具の会 なでしこ

生活に不自由を感じている高齢者や障害者が、少しでもスムーズに生活を送れるようにと、自助具や介助具を作っています。ほかにも、体が不自由になって着られなくなった服のリフォームも行っています。和気あいあいとした雰囲気です。

活動場所 福社会館
活動日時 第2・4金曜日 10時～16時
問合せ先 糺谷 072(953)3526



藤井寺市朗読の会 ひびき

視覚障害者のために、毎月「声の広報ふじいでら」「声の雑誌ひびき」など、音訳CDを作製したり、対面朗読を行っています。リスナーさんの「毎月、楽しみにしていますよ」の声を励みに、朗読の勉強に力をいれています。

活動場所 図書館・福社会館・アイセルシュラホール
活動日時 不定期
問合せ先 図書館 072(938)2197



さといもの会 (子育て応援楽しみ隊)

0～4才までのお子さんを持つママを応援しようと「さといもさろん」と「さといも文庫」を開催。絵本の読み聞かせ、わらべうた遊び、絵本の貸出、お散歩やお昼ご飯を食べたり。スタッフは、子守りとおはなしが大好きなメンバーや元保育士・看護師・栄養士。お気軽にお越しください。

活動場所 専念寺 (津堂 2-4-3)
活動日時 さといもさろん 第3木曜日 10時～12時30分
さといも文庫 第4木曜日 10時～11時30分
問合せ先 細木 090(9116)4093



NICE! 藤井寺バンド

“認知症になってもいきいき暮らせるまち” “笑顔あふれるまち”を目指し、老人ホームや市役所前広場などでライブを行っています。「NICE! 藤井寺バンド」の“バンド”は人と人をつなぐという意味。音楽を通して地域住民の親睦を図り、人と人をつなげることを目標に活動しています。

活動場所 福社会館・松水苑・老人ホームなど
活動日時 火曜日・木曜日 13～17時
問合せ先 二井 090(6600)2108



イベントサークルクローバー

大好きな地元で、色々な人が交流して楽しめる場所を作りたい。そんな思いで、「クローバー手づくり市」を開催しています。他にも、「パープルフェスタ」、「よさこいインふじいでら」との合同企画も開催。楽しい事大好き！という方、ぜひ一緒に活動しましょう！

活動場所 パープルホール・LIC はびきの
活動日時 年3回程度
問合せ先 中辻 090(9988)0766



藤井寺市食生活改善推進協議会

栄養バランスのとれた食生活から健康づくりを広め、介護予防につなげたいとの思いで活動しています。親子クッキングや乳幼児健診では、手づくりおやつを提供し、食に関する正しい情報と手づくりの大切さを伝えています。

活動場所 保健センターなど
活動日時 不定期
問合せ先 保健センター 072(939)1112



ふじいでら手づくり市実行委員会

葛井寺・辛國神社を中心に藤井寺に面白いイベントを増やして、まちを活性化させたいとの思いから、手づくり市を開催しています。木工、雑貨、焼き菓子など種類は様々！手づくりでこんなものができるんだと感動しますよ。ぜひ、一緒に楽しい手づくり市を作りましょう！

活動場所 葛井寺・辛國神社・ブクンダ公園
活動日時 年4回
問合せ先 西山 072(937)1997



子育て支援グループアイセル

「地域で子育て」をモットーに、子育て中のママの仲間づくりをサポートしたいとおしゃべりサロンを開いています。核家族化が進み、子育てのちょっとした悩みを気軽に相談できる相手が減ってきています。ぜひ、「子育てママのおしゃべりサロン」に参加して、同じ境遇の仲間を作りませんか。

活動場所 アイセルシュラホール
活動日時 第3水曜日 10時30分～11時30分
問合せ先 松島 090(3673)8721



おはなしころりん

昔話を覚えて、子ども達に語っています。おはなしの楽しさを伝えるために図書館・幼稚園・保育園・小学校などで、おはなし会を開いています。子ども達がおはなしを聞きながら目をキラキラさせているのを見ると、心が安らぎます。

活動場所 図書館（第2・4土曜日）
アイセルシュラホール（第3土曜日）
問合せ先 図書館 072(938)2197



グループみらい

男女共同参画に取り組んでいます。ミーティングでの話し合いの中で、日々の生活には男女特有の問題があることに気づかされます。その気づきを自分らしく生きるヒントにつなげられるよう活動しています。また、ミーティングで出たアイデアを活かして講座の企画・運営を行っています。

活動場所 男女共同参画ルーム
(パープルホール本館3階)
活動日時 月2～3回程度 ※定例会は第2水曜日
問合せ先 難波 072(955)2746 (FAXのみ)

活動をシルミル。



お手玉サークル遊

最近、加齢による虚弱対策（フレイル）が話題になっています。昔ながらのお手玉や、ゴムつきのヨーヨーお手玉を使った体操は脳トレになります。笑いながら全身体操をすることで集中力がつき、健康寿命を延ばす効果があります。老若男女、年齢を問いません。一緒に楽しみましょう。

活動場所 福祉会館
活動日時 第1水曜日 13時30分～
第4火曜日 10～15時
問合せ先 吉留 072(939)0799



傾聴ボランティアやまびこ

傾聴ボランティアとして、地域の老人施設を訪問して、利用者の方の様々な思いや言葉に耳を傾けています。その方のお話を聴き、穏やかな表情を見ることができると、少しは気持ちに寄り添えたかなと嬉しくなります。

活動場所 老人福祉施設など
活動日時 月7回程度
問合せ先 金銅 072(952)9656



藤井寺市青少年リーダー協議会

地域の子ども会行事に出向き、クリスマス会やお楽しみ会で、レクリエーションやゲームなどの遊びを子ども達と一緒に楽しんでいます。子どもにリーダーネームを覚えてもらったり、「楽しかったよ」って言ってもらえるのと疲れが吹き飛び、やりがいを感じることができます！

活動場所 アイセルシュラホール、各小学校など
活動日時 不定期
問合せ先 藤井寺市教育委員会 生涯学習課
072(952)7800



点訳サークル藤井寺市六星会

視覚障害者の方々のために、広報ふじいでらの点字版をはじめとした様々な本の点訳や、視覚障害者の会（たんぼぼの会）との交流会を行っています。目の見えない人と見える人が一緒に絵本を楽しめるように、透明なシートに文章を1点1点コツコツと手打ちしています。

活動場所 福祉会館
活動日時 火曜日 10～17時、金曜日 13～17時
問合せ先 田中 072(955)4029



ほっとタイム - 親の会 in 藤井寺 -

学校に行かない・行けないといった子どもをもつ親同士の集まりです。気兼ねなく話せて、少しでもホッとできる交流の場として会を開いています。子どもの年齢は小学生から 30 代くらい。学校や社会との付き合い方や暮らし方も様々です。同じ立場の人同士話合ってみませんか。

活動場所 パープルホール
活動日時 第2月曜日 10時～13時
(祝日の場合は第3月曜日)
問合せ先 里中 080(3132)2845



ふじいでらブロカント

“長く愛されてきた、古き良きモノ達との出会い”をコンセプトに、食器・物入れなどの古道具や、人形などのアンティークを中心とした市を開催しています。市民の方や他市から来られた方に「藤井寺市にも、こんな魅力的な骨董市(ブロカント)があるんだ!」と楽しんで頂きたいです。

活動場所 市役所前広場
活動日時 年4回
問合せ先 西山 090(7768)5492

市民活動 Q&A

■ 市民活動に関する悩みをお聞かせください。
藤井寺市協働人權課 (市役所 1階④番窓口)
☎ 072(939)1331



資金はどうやって集めるの？

参加費や利用料で賄う

「ボランティアや市民活動は無償でやるもの」というイメージを持っていませんか？例えば、講座やイベントを行う際、「参加費をとるなんて…」と思っていませんか？講座やイベントを行うには費用がかかります。それを賄うために、会員から会費を集めるというのも、もちろん一つの方法です。

しかし、会員の負担が大きくなると、活動を続けることがしんどくなってしまいます。助成金を申し込むにしても、受けられる保証はありませんし、一時的なものが多いです。また、寄附金を集めるとしても、人脈や活動実績が必要です。

そのため、事業を行う際は、適度に参加費やサービ
ス料などを設定するというのも、継続的に活動を続ける上で重要です。



活動意欲を失わないためには？

初心に戻って、活動目的を思い出す

活動を長く続けていると、毎年同じ活動内容・形式になってしまい、マンネリ化してしまうことがあります。最初はやりたくて始めた活動でも、「去年と同じようにやらないといけない」と思うと義務感や負担を感じてしまうことも多いのでは？そんな時は、「本来の目的は何か、自分はどのような事をしたかったのか」初心に戻って振り返ってみましょう。

また、時代の変化とともに地域の課題やニーズは変化していくものです。活動をはじめたときと状況がどう変わっているのかを考え、活動の内容を変えてみるとより良いものになるかもしれません。



活動を PR するには？

情報をどんな人に届けたいか考える



「情報化社会の波に乗って、私たちの団体もホームページや SNS を活用しよう!」そう思っている方も多いのでは？

しかし、そこには落とし穴が。これらの媒体は作製するだけでは、PR につながりません。まずは、落ち着いて「どんな人に情報を見てほしいか」を考えてみましょう。例えば、75 歳くらいの人に見てほしい時、SNS をチェックしている人がどれだけいるでしょうか？そういう場合、口コミやチラシのほうが有効です。

また、チラシをどこに置いてもらうのか、どのような場所で配るのか、どんな内容が興味を引くのかなど情報を発信したい対象がどんな人なのかを意識するようにしましょう。



人材不足を解消するには？

メンバーが意見を出しやすい雰囲気づくり

活動を PR して参加者を増やすということに加えて、新しい人がなじみやすい、発言しやすい雰囲気づくりをすることが大事です。一人の人が代表者や幹部など中心人物になり続けるのではなく、メンバーで役割を循環させていくことが大事です。

そのためには普段からメンバー同士、意見を交わすこと、負担を分散すること、役割を思い切って人に任せてみるということが重要です。

活動をシルミル。



クリーンボランティア一粒会

駅周辺の清掃を通じて、地域社会のモラルとマナーの向上を目指しています。たばこの吸い殻や空き缶など、ゴミが少なくなったことを実感できると、気持ちもスッキリ! 藤井寺をきれいなまちにしましょう。

活動場所 藤井寺駅周辺
活動日時 第3日曜日 9～10時
問合せ先 松山 072(955)1268



地域活動栄養士会オリーブ

近頃、朝食を食べない人の増加や伝統的な食文化が失われつつあるなど、食に対する意識が希薄になりがちです。私たちは食育や高齢者栄養などの勉強を行い、地域の皆様の健康づくりに関わっています。料理教室や食育講座の依頼もお受けしています。

活動場所 藤井寺保健所など
活動日時 第2月曜日(定例会)
問合せ先 藤井寺保健所企画調整課栄養士
072(955)4181

自治会 de ボランティア活動!

市内には45の地区自治会があります。自治会活動もれっきとしたボランティアです。このコーナーではそんな市内の自治会活動について紹介していきます。



地域のまつりをきっかけに自治会のリーダーへ

インタビュー

大井地区
西野 喜則 区長

◆西野さんは2017年から区長になられたけれど、やはり自治会とのつながりは強かったですか？

生まれも育ちも大井ですけど、自治会と特段深い関わりってなかったですね。ほかの人と同じように、役が回って来ればやって、任期が来たらハイ次、って感じで。関わるきっかけと言えば地域のまつりかな。15年ぐらい前、当時は大井地区にだんじりが無くて。他の地域のだんじりを見て、まつりっていいなあ、大井地区でもやってみたいなってずっと思っていました。それがあある時、縁があって、だんじりを譲ってもらえることになって。ただ、だんじりを曳くのに法被も足袋もないから一から衣装を揃えなあかん。でも全部個人で揃えようとしたら負担がすごいかってくる。そこで、だんじりって地域だし、少しでもいいんで自治会からも助けてもらえませんか、と当時の区長に掛け合いました。それまで区長の顔は知ってたけど、話したこともなかったから、緊張しました(笑)。今思えばその掛け合いがなかったら今、区長になってないと思います。ちなみに法被は一部補助してもらってホンマに助かりました。

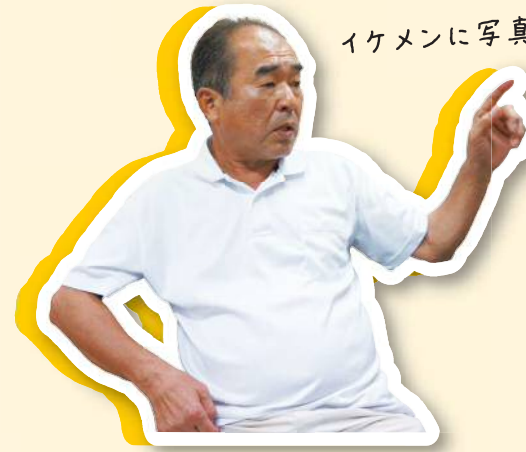
◆長年まつりに携わってこられたんですね。じゃあ自治会の運営に関わるきっかけはなんだったんですか？

法被の件で世話になったことで当時の区長から数年前に、私を含めて5人ちょっと来てくれへんか、と集められて。「5人全員、副区長やってくれへんか。」と言われたんです。今だから言えることですが、5人で「どうする？全員で断るか(笑)」とか、相談してましたが、結局、「西野がやるならやるわ」ってみんなに言われて、じゃあみんなでやろうか？ってなりました。ここから自治会に深く関わっていったのかな。

◆自治会役員に抜てきされたんですね。

たぶんまつりをまとめてきた実績を買ってくれたってことかなあと思ってます。副区長をしばらくして、これまた前区長から2017年の3月頃に「次(区長)やって欲しい」って言われました。最終的に全体の会議で諮って、異議が出なかったんで私が務めさせてもらうことになりました。まあ本音を言うと、代表なんて柄じゃないんで、NO. 3ぐらいのポジションで、あーだ、こーだ言っているほうが性に合っていると自分では思っているんですけどね。

イケメンに写真撮ってや!



大井地区独自の防災マップ



◆区長を引き受けてどうでしたか。

それが区長になっても何をしたらいいか全然わからなくて。毎月定期的な会議はやってるけど、なんの話をすればいいのかもわからない。だから近くの地域の区長に色々聞いてみたりして、じゃあまず防災に関する取組みに力を入れようと思いました。

一昨年、まだ副区長の時代ですけど、前区長に「防災訓練をしませんか」と持ち掛けたら「ええよ、やってんか」と全面的に任せてもらった経緯もありましたので、区長になった昨年も2回目の防災訓練をやりました。災害はいつ起こるかわからないので、毎年続けていきたいと思っています。あとは地域の防災マップ(※上段参照)も作って、大井地区の全戸に配布しました。これは自治会に入っていない人にも配りました。地域でこんな活動をしているんですよという意味も込めてね。これをきっかけに少しでも自治会に興味を持ってもらえればと思っています。

◆地域の改革を進めているわけですね。

実際考えてみると色々やりたいことは出てくるんですけども、全部いっぺんにすると協力してもらおう役員さんの負担が増えるので、一つ一つやっていこうかなと思っています。

今は大井会館が傷んできているので、少し綺麗にして使い勝手のいいものに変えようかな

と。畳の部屋をフローリングにしたり、エアコンを入れ替えたり。実際カラオケや体操とか地域の人の憩いの場所にしたいので、ちゃんと整備してせつかくの会館をもっと使ってもらえたらなあと思っています。

あとは、まつりですね。僕自身まつりをきっかけに自治会の役員になっているので感じるんですけど、これまで自治会とまつりの組織とあまり繋がりがなくて。まつりも地域の行事ですし、大井地区が活性化するためにも、みんなで盛り上がらないと意味がないと思っています。ぜひ皆さんにいろんな形で参加してもらいたいと思っています。

◆最後に一言。

自分が区長になって思っていることが一つあって。会議の場とか、色々決め事をしないといけないことがあるんですけども、自分の独断で決めたらあかん、と心掛けています。必ず皆さんの意見を聞いて、割れるようなことがあったら、最終的な判断は代表の私がする、というようにしています。区長が決めたことだからじゃなくて、自分たちで決めただ、という意識を持ってもらって、いつでもみんなが丸となって活動するというのが大事だと考えています。

◆西野さん、ありがとうございました。

地域活動の第一歩はじめてみませんか

自治会は、地域に暮らす人たちが日常生活に密着したさまざまな取り組みを通して、住みよいまちづくりを進める住民組織です。防犯パトロールや防災訓練、お祭りや運動会などのイベント、美化活動などを行っています。いざという時にお互いに助けあい協力しあえるようにするには、日頃からのつながり作りは欠かせません。自治会に参加して、地域の絆を強めませんか。

地区自治会へ加入されたい方は、近隣の役員さんにお問い合わせください。役員さんがわからない場合は、市役所協働人権課までお問い合わせください。